

トピックス Topics

中小企業の悩みをトータルサポート 「新宿ビジネスステーション」開設

人手不足や後継者難、物価高、資金繰りなど、中小企業の事業環境は厳しい状況が続いている。新宿区は2025年8月、こうした悩みに一貫して対応できる「新宿ビジネスステーション」を開設した。運営する文化観光産業部産業振興課に話を伺った。

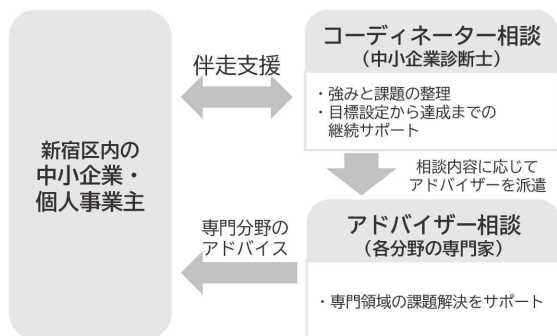
(情報統括部 綱島 千咲)

一貫したサポート体制を構築

新宿区産業振興課ではコロナ禍より、商工業緊急資金特例融資、経営力強化支援事業補助金、物価高対策であるプレミアム付商品券事業の3本柱で中小企業等支援に取り組んできた。また、経営相談も受け付けていたが、経営相談と専門家派遣を別制度として運用していたため、点での支援となり、効果的な課題解決に十分結びつかなかった事例もあった。コロナ禍が明け、持続可能な経営力の強化による本業支援に注力するべく、“ビジネスがつながる、広がる、動き出す”をテーマとした「新宿ビジネスステーション」を開設した。

最大の特徴は、区内の中小企業等の経営課題に対するトータルサポートだ。中小企業診断士である「コーディネーター」による相談対応で強みや課題を整理し、内容に応じて各分野の専門家であ

コーディネーターとアドバイザーによる一貫したサポート体制



(出所)HPより帝国データバンク作成

る「アドバイザー」を派遣する、という一貫したサポート体制が整えられた。電話のほかオンラインでも面談の予約や相談ができ、さらに相談からアドバイザー派遣まで、すべて無料で受けられる。

幅広い分野のアドバイザーそろう

アドバイザーには、マーケティングや法務、事業承継など幅広い分野の専門家がそろっており、「強み・課題を整理したい」という漠然とした悩みでも相談可能だ。新宿区は飲食店などの小売り・サービス業者が多く、その特徴に対応するため、飲食店やインバウンドに特化した専門家も置かれている。創業から事業承継までの各ステージの課題解決や、SNSを活用した集客、オペレーションの改善、メニュー開発など、さまざまな課題に対して詳細なアドバイスを受けられる。

経営相談以外にも、区内中小企業等向けに毎月、無料のセミナーを開催している。10月28日の第3回は、広告費に頼らないSNSを活用した実践的なパーソナルブランディングをテーマにするなど、今後も中小企業等が興味・関心を持つテーマを選定していくという。

新宿区の商工相談窓口への相談件数は、2024年度が130件だったのに対し、同サポートにより2025年度は前年度からの増加が見込まれている。さらに、今後は創業支援にも注力していく。内野桂子産業振興課長は、「何から相談したらいいか、課題が漠然としているという方でも気軽にご利用いただきたい。皆さまからのご相談をいただきながら、新宿区の経営サポートのプラットフォームとしてさらに支援体制を強化していきたい」と話す。



詳細・予約は
こちらから